

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和4年9月22日

大宮武蔵野高校が地元自治会に対して 避難所開設の初動支援の申出を行います！ ～防災学習会等を実施～

(同時発表：さいたま市政記者クラブ)

県立大宮武蔵野高校（校長 池田 泰）は、さいたま市西区の「指定避難所」に指定されています。この度、地域貢献の一環として、地震災害時における避難所開設にあたり、高校生が初動を支援する申出を地元自治会に対して行います。地域と高校による防災学習会を開催し、支援申出のセレモニーと、専門家による講演を実施します。また、避難所開設訓練に高校生が参加します。

● 概要

1 支援の概要

学校の授業中に地震災害が発生した場合、本校高校生が、避難所の段ボールパーティション配置の区割りや、受付業務などの初動を支援します。

2 地域と高校による防災学習会

日時 令和4年10月8日（土曜日）午後1時30分～3時30分

会場 県立大宮武蔵野高等学校 体育館

名称 「SDGs 11[※]：災害に強い持続可能な都市

～地域と高等学校による防災学習会～

参加者 さいたま市西区馬宮地区北部7自治会、大宮武蔵野高校生徒・保護者・
教職員ほか

内容 初動支援の申出セレモニー

芝浦工業大学 中口 毅博教授による講演

※「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」の11

「住み続けられるまちづくりを」を指す

3 さいたま市西区避難所（大宮武蔵野高校）開設訓練

日時 令和4年10月15日（土曜日）午前9時～正午（予定）

会場 県立大宮武蔵野高等学校 体育館

4 申出の経緯

本校は3年後の創立50周年に向け、学校の目標である「地域が誇る学校」の実現を目指して、地震災害時における高校生による支援を申し出ることにしました。

さいたま市西区馬宮地区北部7自治会では、災害発生時に自治防災（安否確認を最優先）と避難所開設を同時に行う必要があり、地震発生直後の初動に人手が足りないという課題があります。

以上を踏まえ、学校授業中に地震災害が発生した場合、高校生が初動を支援します。この取組は、地域貢献に加え、高校生の主体性の向上、自己有用感の醸成などを目的としています。